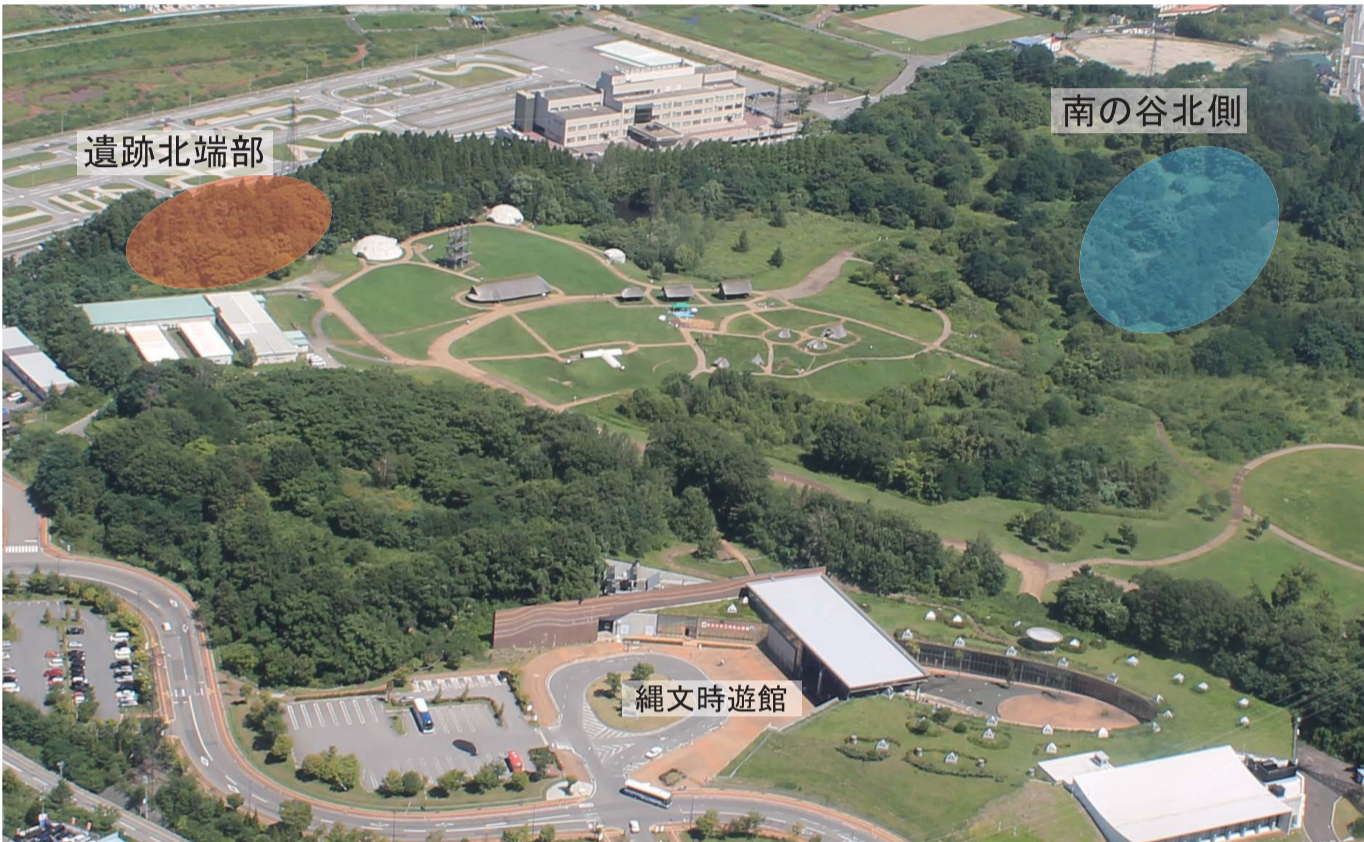


# 三内丸山通信

第 72 号

令和2年7月3日

三内丸山遺跡センター  
〒038-0031 青森市三内字丸山 305  
TEL (017) 781-6078  
FAX (017) 781-6103  
URL <https://sannamaruyama.pref.aomori.jp/>



【第44次調査の範囲（写真上が北東方向）】

## 溝状遺構を探る！ — 第44次発掘調査開始 —

三内丸山遺跡では、縄文時代のムラの移り変わりや、そこに暮らした人々の生活環境を解き明かすため、平成7年度以来発掘調査を継続して行っています。

今年度の第44次発掘調査は、6月1日（月）から9月30日（水）の期間で昨年度に引き続き遺跡北端部の調査と、新たな地点として南の谷北側の調査を行います。

### 調査の目的

今年度の調査（第44次発掘調査）は、遺跡北端部の溝状遺構の規模や構造を明らかにすることと、南の谷北側での竪穴建物跡などの分布状況を確認することを主な目的としています。

### 遺跡北端部の調査

遺跡北端部では、昨年度までの調査により2条の溝状遺構が西側に延びていることがわかっていました。その延長が想定される範囲を調査することで、溝状遺構の規模や構造を詳細に調べます。溝状遺構は、地面を浅く带状に掘り込んで作られており、その両側にピット（柱穴）や細い溝があることがこれまでの調査でわかっています。同様の遺構は、縄文時代では例がなく、とても珍しい遺構です。

### 南の谷北側の調査

この付近では、過去に行った調査で、三内丸山遺跡が最も拡大した縄文時代中期中葉（今から約5000〜4800年前）を中心とする竪穴建物跡や土坑が多数見つかっています。

今回の調査では、地下にどのような遺構（竪穴建物跡など）が埋まっているのか、調べていきます。今年度の調査では竪穴建物跡などの、遺跡東側への広がりを確認します。

### 発掘現場公開中

発掘調査現場公開は、遺跡北端部で行っています。発掘調査現場は、9月18日までの月曜日〜金曜日には自由に見学できます。

現場公開日には、午前11時から現場ガイドを行います。最新の調査状況を説明するほか、発掘調査に対する素朴な疑問などに発掘調査担当の専門職員が直接わかりやすくお答えいたします。ぜひ発掘調査現場をご覧ください。

また、三内丸山遺跡のホームページには、「発掘最前線」というコーナーがあり、調査のようすを毎週金曜日に更新しています。こちらもぜひチェックしてみてください。

### 縄文シアターの映像リニューアル

縄文シアターで上映している「ようこそ特別史跡 三内丸山遺跡へ」の映像を5年ぶりにリニューアルしました。

今回は青森県出身の声優である三上枝織さんがナレーターを務め、1992年から1994年に行われた大規模発掘調査から世界遺産に関する情報まで三内丸山遺跡の概要や価値をわかりやすく解説しています。

映像は10分弱ですが、見学の最初は縄文シアターにお立ち寄りください。



【リニューアルしたシアターの映像】

# 特別史跡指定20周年記念企画展 「三内丸山と大湯」開催

平成12（2000）年に三内丸山遺跡が特別史跡に指定されてから今年で20周年を迎えることを記念し、特別史跡指定20周年記念企画展「三内丸山と大湯―縄文の大集落からストーンサークルへ―」を開催します。



【日時計状組石（大湯環状列石）】鹿角市教育委員会

―遺跡の国宝に相当する特別史跡。縄文時代の特別史跡は4件のみですが、その中の2件が「北海道・北東部の縄文遺跡群」の構成資産となつている三内丸山遺跡と大湯環状列石です。特別史跡と大規模遺跡をキーワードに、三内丸山遺

跡、大湯環状列石それぞれについて、わかりやすく説明します。三内丸山の盛土や墓、大湯にみられる大規模な環状列石などから、社会の変化を読み解き、中期と後期を代表する大規模遺跡の具体的な姿に迫ります。ぜひご観覧ください。

## 特別史跡指定20周年記念企画展

### 「三内丸山と大湯―縄文の大集落からストーンサークルへ―」

- 会場：三内丸山遺跡センター企画展示室
- 会期：令和2年7月18日（土）～令和2年11月8日（日）
- 観覧時間：常設展に準じます。
- 休館日：7月27日（月）、8月24日（月）、9月28日（月）、10月26日（月）
- 観覧料：無料（常設展観覧料でご覧になれます）  
※小中学生以下は常設展観覧料無料です。

## 新たな史跡整備が はじまります！

令和2年3月青森県教育委員会では、三内丸山遺跡のさらなる魅力づくりのため、今後10年間に行う史跡整備の内容についてまとめた『特別史跡三内丸山遺跡整備計画』を策定しました。



【10年後の整備完成予想図】

今後は、この計画に基づき、環状配石墓や大人の墓、子供の墓などの立体表示に加え、南盛土の露出展示覆屋や園路等の改修なども行い、今よりもさらに縄文のむらたたずまいを感じてもらえるような整備を行います。詳しい整備計画の内容については、当センターのホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

## さんまる ミュージアムが進化！

さんまるミュージアム・縄文人のこころのコーナーでは、遺跡からみつかった代表的な出土品である縄文ポシエットや大型板状土偶、ヒスイ製大珠などを展示しています。令和2年度、縄文人のこころのコーナーでは2つ新たな取組が行われています。

1つめは、今まで展示台に寝かせていた土偶を写真のように立てた状態で展示することにより、形や厚みなどそれぞれの特徴がわかるようになりました。

2つめは、新型コロナウイルス感染症対策としてスマートフォンで読み取るQRコードを設置しました。それぞれの出土品のそばに置いてあるQRコードを読み取ると解説員が実際に出土品を解説する動画をみる事ができます。



【リニューアルした展示の一例】

この動画のQRコードは現在縄文ポシエットや大型板状土偶などの出土品のそばに置いてあります。

## 三内丸山遺跡センターのご案内

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館となる場合があります。ご来館の前に、最新の情報をホームページ等でご確認ください。

### 開館時間

当面の間：9時～17時（入場は閉館の30分前まで）

### 見学料

一般410円(330円) 高校生・大学生等200円(160円) 中学生以下無料 ※( )は20名以上の団体 ※特別展の観覧料は別途

### 休館日

毎月第4月曜日（第4月曜日が休日の時はその翌日）  
12月30日～1月1日

### 公共交通機関

・青森市営バス JR青森駅から⑥番乗り場 三内丸山遺跡線 三内丸山遺跡前で下車 料金310円 約30～40分  
・ねぶたん号 JR新青森駅東口 三内丸山遺跡前で下車 料金300円 約15分

### さんまるミュージアムの定時案内

当面の間、休止

### ボランティアガイドの定時案内

1回目は9時15分から  
2回目以降は、10時から1時間ごと  
お問い合わせ先：三内丸山応援隊017-766-8282

平成15年5月に重要文化財に指定された1958点の出土品は、保存修理が必要なものが多く、重要文化財指定直後から継続して修理しています。令和元年度は、土器4点、骨角器9点、木製品1点を修理しました。これらは、さんまるミュージアムなどで今後展示する予定です。令和2年度は、土器7点、骨角器3点を保存修理する予定です。

## 重要文化財14点を保存修理しました！



土器

木製品

骨角器

【保存修理した重要文化財】